

新火葬場地域経過報告会(南姫地域)でのおもな意見

9月17日(金)南姫公民館にて開催した、新火葬場地域経過報告会にご参加いただき誠にありがとうございました。報告会でお聞きしたおもなご意見とその回答を次のとおりまとめましたのでご覧ください。

日 時 平成22年9月17日(金)午後7時～
場 所 南姫公民館
参加者 39人

○質問 平成13年の総合計画から、火葬場の建て替えについて検討を始めていたのですが、合併特例債を使って駅の整備や道路改良をした際に、なぜ、現在の火葬場への進入道路を改良することを検討しなかったのですか。

多治見市の財政状況が厳しく、投資的経費が減少傾向であったこともあり、建設に約17億円、用地造成、道路整備を含めると20億円を越える費用を必要とする火葬場の建設には、財政的に着手できない状況がありました。その結果、総合計画の様々な事業の中でも優先順位が低くなったという経緯があります。

○質問 現在の火葬場の隣接地に新火葬場を建設して、進入道路についてはあとから整備することはできませんか。

道路の改良には多くの費用を要しますので、合併特例債という有利な制度を利用できる期間に、可能な限りおさえた金額で同時に建設していきたいと考えます。

○質問 費用を抑えることを考えると、市有地である大藪町のため池と笠原町の候補地で検討すればよいのではないかと思います。さらに民有地を2ヶ所加えている真意を教えてください。

前回の候補地選定委員会から、市有地を中心に候補地を検討してきた中で、地権者等からのご提案もあり、民有地も加えて、条件に当てはまる候補地として絞り込みを行いました。市有地で建設すれば用地取得の費用は必要ありませんが、候補地をとりまく状況がそれぞれ違うため、用地取得費用にかかわらず、造成費等の建設にかかる費用には差が生じます。費用の大小は候補地選定の1つの要素であると考えています。なお、前回の選定委員会において、市有地をつぶさに検証いたしました結果、最終的に37箇所

に絞り込み、その中から今回の候補地が選定されています。そのため、この段階で、市有地につきましては調査がし尽くされていたということです。なお、ため池については、当時は承知していませんでしたが、その後、県からため池としての機能はないとの返答もあったことから新たに候補地として加わったものです。

○質問 第5回の建設検討委員会で現地確認を行った際には、松坂町の候補地において、反対行動により現地へ入れなかったと聞いていますが、現地調査は実施できましたか。

8月30日に第5回の検討委員会を行い、その中で4箇所の候補地について、再度現地確認を行いました。松坂町の候補地は雑木林であり、もともと候補地の中に入る予定はなく、候補地の外から全体の状況を確認しました。また、近接する住宅団地にも足を運び、候補地との距離や見え方などについても確認を行いました。

○質問 笠原町の知人から、建設は笠原町に決まったという話を聞きましたが本当ですか。

昨日笠原町で報告会を行いました。意見交換の中では反対意見もあり、笠原町が地域全体として賛成しているという状況はありません。候補地の選定はこれから行っていく予定です。

○質問 前回の大雨の際にも、中川が溢れて被害を受けました。ため池をなくしてしまうと、今以上に被害が大きくなる心配があります。何らかの対策は考えてありますか。

ため池を埋め立ててアスファルトを敷くと、雨水の流出が増えることは予想されます。調整池を設け、また、関連する河川の流下能力を計算して調整池の大きさや河川の流量を計算して改修工事等の対策も講じていきます。

○質問 火葬場の建設は膨大な費用がかかります。赤字になった場合、市民が負担を強いられるのではないかと心配です。

有利な制度である合併特例債を利用して、適正な範囲で借金をしながら進めていくというのが基本的な考えです。維持費については、必要経費をすべて利用者に負担していただく訳にはいかないため、近隣市町村の状況も考慮しながら料金設定等していきます。

○質問 ため池の候補地に関して用地買収はすすんでいるのでしょうか。

現在は候補地を選定している段階であり、地権者の意向についての事前確認は行なっていますが、用地買収については進めていません。

○質問 バイパスを通らずに善師野多治見線を通る車があった場合、峠の付近は大変道幅も狭く、生活道路として利用している地元住民としては非常に迷惑を被ると考えられます。また、248号バイパスも西高付近では年中渋滞しており、車両台数が増えるこ

とは渋滞を悪化させる心配があります。

基本的に葬儀会社へは248号バイパスを使用するよう、依頼していきたいと考えていますが、多治見善師野線を使用する利用者もあるかもしれません。幅の細い道については、道路の危険箇所なども点検し、必要があれば県に改良を依頼するなどして対応していきたいと考えます。また、248号バイパスの渋滞につきましても、すぐに解消できる問題ではありませんが、課題として受け止めます。

○質問 設備の問題で、ダイオキシンは「ほとんど出ない」とのことですが、「ほとんど」ということは「出る」と受け取ってよろしいですか

排気ガス中のダイオキシン濃度については、旧厚生省が「火葬場から排出されるダイオキシン類の削減対策指針」を示しています。具体的な数値としては、新設した炉の排気ガス中ダイオキシン濃度は $1 \text{ ng} / \text{Nm}^3$ と示されています。炉メーカーに確認したところ、近年稼働している他市の火葬場もこの数値を下回っており、基準を満たす施設の建設は十分可能だと考えています。

○質問 先日、30区として火葬場建設に関する委員会を設置しました。今後は区の委員会や地元の皆さんにしっかりと情報を流していただきますようお願いいたします。

前回の報告会で情報が遅いというご指摘をいただきましたので、迅速に対応させていただくような体制を組みました。今後も委員会の検討状況等につきまして迅速に情報を公開していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○質問 新しい火葬場についても、これまでのように、一部の業者に火葬場の管理を任せるのですか。

市では現在、指定管理者制度により、多くの施設の管理をおこなっています。新しい火葬場についても、この指定管理者制度を使用して施設の運営や維持管理を行っていきたいと考えています。

○質問 現在は小規模な家族葬をされる方が非常に多くなっているようです。家族葬のできる小規模なものでよいので、貸しホール的な施設をつくってもらえませんか。

前回の報告会で説明のとおり、市内にはすでに8箇所の民間セレモニーホールがあり、現段階で、同様の市営セレモニーホールを建設するという考えはありません。しかし、今回、小規模な家族葬のできるような施設をつくってはどうかというご意見をいただきましたので、新たなご意見として受け止めさせていただきます。

○質問 民間業者を圧迫するのでセレモニーホールは造らないとのことでしたが、既存の業者の既得権を維持することだけでなく、建設する地域の発展につながるような考えも持って、

開発をすすめてください。火葬だけ済ませて帰っていくという施設では、地域にとって単なる迷惑施設でしかありません。誰でも反対するのが当然だと思います。もっと地域の発展につながるよう開発を考えていってください。

ご意見として受け止め、火葬場をつくることによる地域の発展についても、機を捉えて検討していきたいと考えます。